

なぞり書き 土用

七月号第四週月曜日教材

- 1 文字をなぞろう
- 2 声に出して 三回読もう
- 3 わからない 言葉を 調べよう

土用のうしの日には、  
 なぎを食べますが、ほかに  
 も、うめぼし、うどん、  
 り、牛など、「うづ」のつく  
 ものを食べると夏ばてしな  
 いといわれます。

「土用ぼし」とは、着るも  
 のをほすことをいいます。

「土用波」とは、土用のこ  
 ろ、海岸にうちよせる波の  
 ことです。台風によるうね  
 りが大きい波です。

なまえ

仕

死

使

始

始<sup>し</sup>始<sup>し</sup>勉<sup>べん</sup>天<sup>てん</sup>教<sup>けん</sup>頭<sup>とう</sup>生<sup>せい</sup>ひ人<sup>じん</sup>さ仕<sup>し</sup>主<sup>しゅ</sup>  
 業<sup>ぎょう</sup>発<sup>はつ</sup>強<sup>きょう</sup>使<sup>し</sup>室<sup>しつ</sup>を死<sup>し</sup>っはい方<sup>か</sup>人<sup>じん</sup>  
 式<sup>しき</sup>電<sup>でん</sup>をのを使<sup>つか</sup>を死<sup>し</sup>いごがに  
 車<sup>くるま</sup>始<sup>はじ</sup>は使<sup>し</sup>い分<sup>ぶん</sup>につのな仕<sup>つか</sup>  
 にめね用<sup>よう</sup>なけなか仕<sup>し</sup>いえる  
 乗<sup>の</sup>る。すさる。っ死<sup>し</sup>上<sup>あ</sup>る。  
 泳<sup>およ</sup>ぐ。

なまえ

左がわに書かれてある文字を二回書き写そう

# 負けるが勝ち

意味 無理に相手と争うより、相手に勝ちを譲る方が結果的には得になる。

例文 どっちが先に叩いたかでけんかになった。絶対に向こうの方が先だったけど、負けるが勝ち、「ぼくが悪かったよ」と謝って、さっさと、仲直りをし、その後は仲良く遊んだ。

# 三つ子のたましい百まで

意味 三才の時の性格や性質は、百才になっても変わらない。幼い時の性質や性格は、年をとっても変わらないということ。

例文 小さい頃からみんなを笑わすことが好きだった田中君は、大人になって、噺家になった。三つ子の魂、百までとは、田中君のことをみれば、よくわかる。

し  
ゆ

じ  
ん

に

っ  
か

え  
る。

さ  
ら  
ら  
ら  
の

し

あ  
げ

ひ  
と

は  
い  
つ  
か

ぬ。

せ  
い

し

を

わ

け  
る。

あ  
た  
ま

を

っ  
か

い  
な  
さ  
い。

き  
よ  
う

し  
っ

を

し

よ  
う  
す  
る。

べ  
ん

き  
よ  
う

を

は  
じ

め  
る。

し

は  
っ

で

し  
や

に

の

る。

し

ぎ  
よ  
う

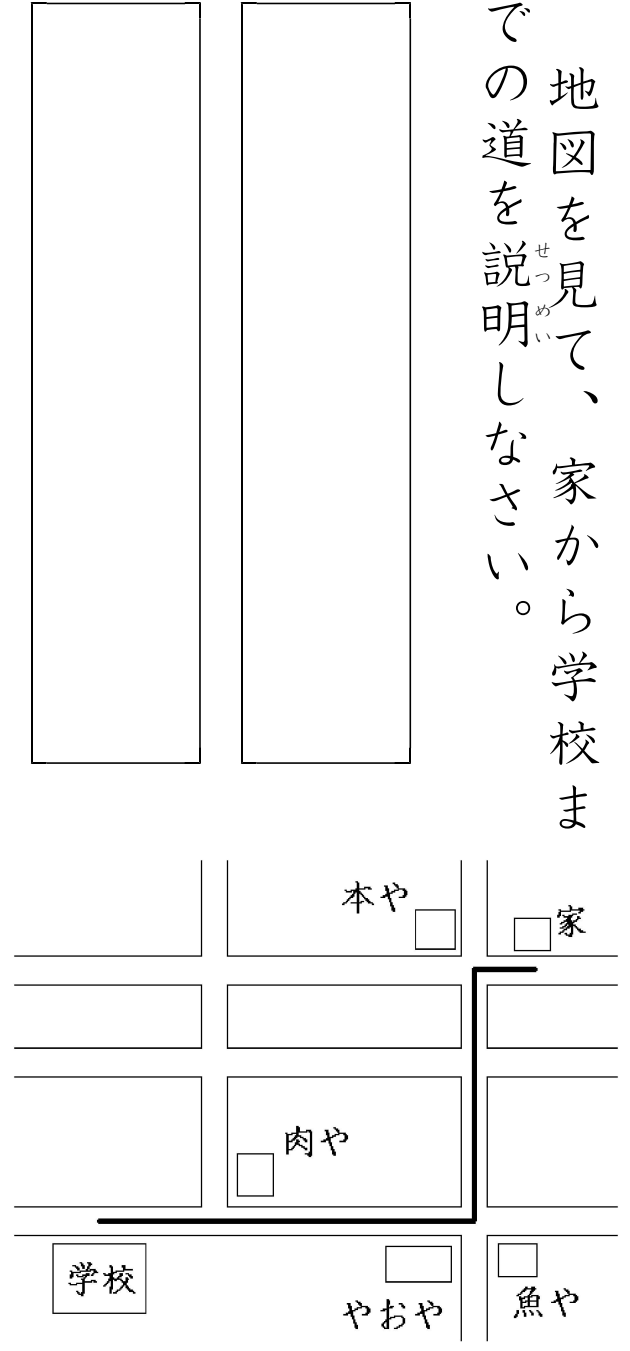
し  
き

な  
ま  
え

# 金曜作文教室 場所を説明する

七月号第四週金曜日教材

地図を見て、家から学校までの道を説明しなさい。



なまえ